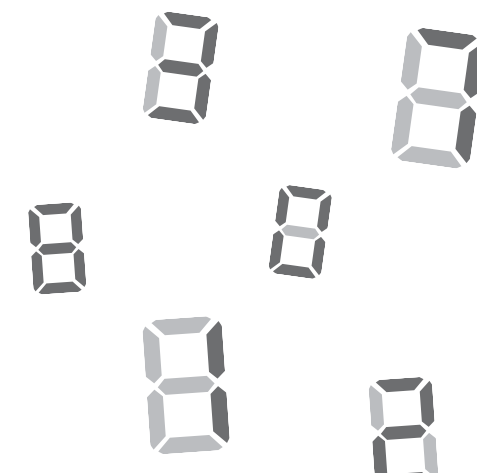
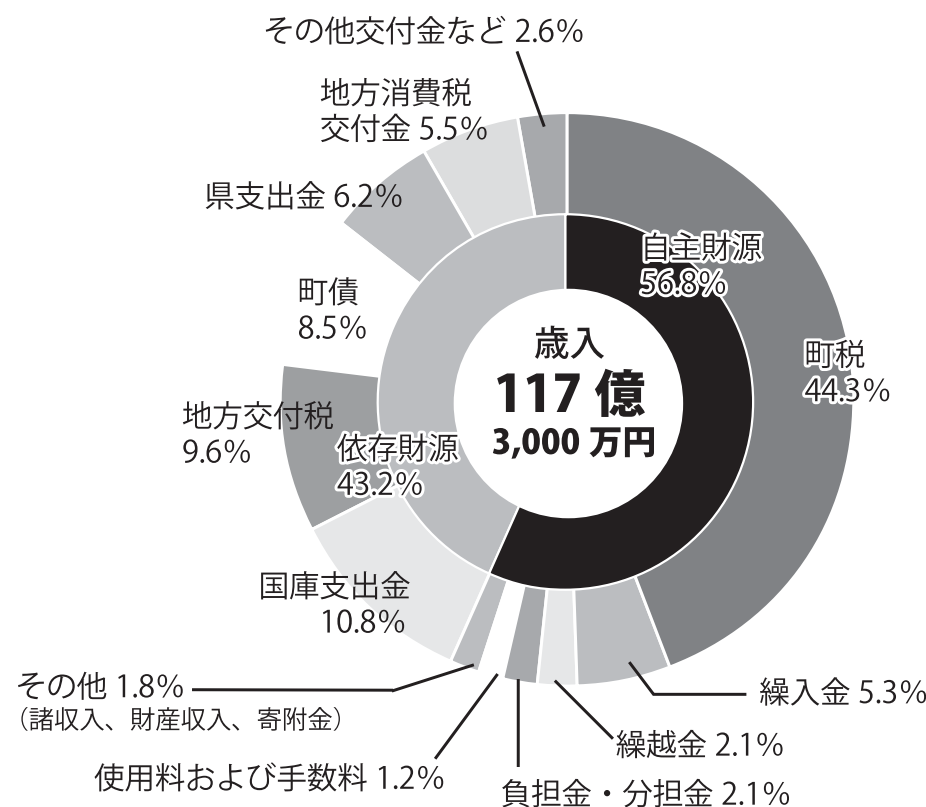


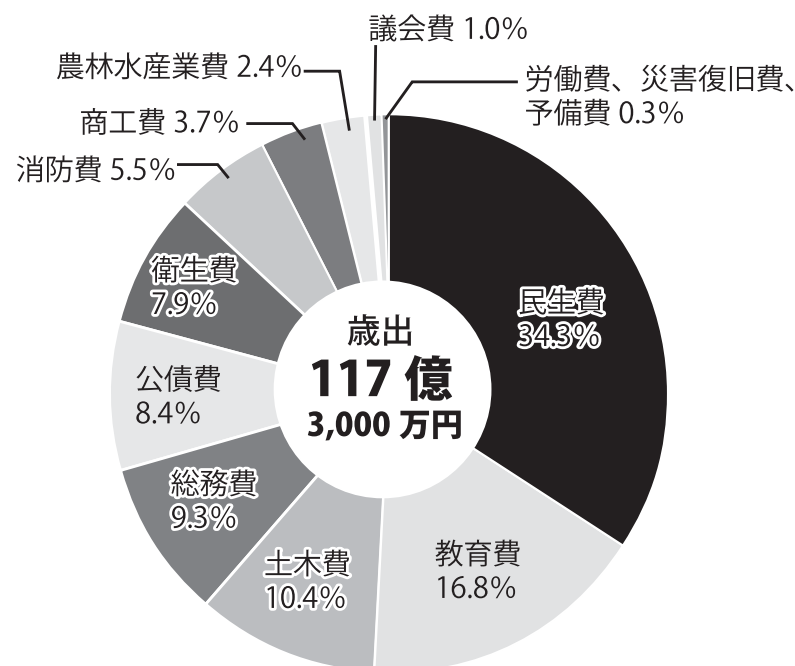
問合せ先／企画財政課（979-8101）



一般会計の歳入



一般会計の歳出



特別会計の予算

特別会計	予算額	前年度比
土地取得	1,962万3千円	85.4%増
国民健康保険	46億351万円	11.7%減
後期高齢者医療	4億4,700万8千円	12.4%増
介護保険	29億9,315万4千円	1.3%増
下水道事業	12億500万円	7.7%増
農業集落排水事業	808万円	3.7%減
上水道事業	8億3,061万5千円	1.4%増
畑、丹那簡易水道	1,140万8千円	15.4%増
田代、軽井沢、丹那地区簡易水道	1,398万3千円	13.0%減
東部簡易水道	1億6,660万9千円	12.0%増
平井財産区	194万2千円	89.6%減
上沢財産区	1千円	増減なし

【平成30年度当初予算】

一般会計：117億3,000万円（1.7%増）

特別会計：103億93万3千円（3.9%減）

総額：220億3,093万3千円（1.0%減）

■一般会計

平成30年度函南町当初予算が3月定例議会で可決されました。一般会計の予算額は117億3千万円で、平成29年度予算と比べて1億9,900万円（1.7%）の増額となりました。

平成30年度は、第六次函南町総合計画の2年目にあたり、町の発展と飛躍を目指し、各分野において最大限に行政力が発揮できるよう、「環境・防災」「社会基盤」「福祉・健康」「教育」「産業」「交流・にぎわい」の6つの基本政策としました。

町民の皆さんや訪れた人が、「住んでよし、訪れてよし」と実感でき、さらに発展するまちづくりの推進と町の将来像「環境・健康・交流都市函南」の実現のため、一層の「選択と集中」により効果を最大限発揮できる重点施策への財源配分を行い、実践的かつ実行性の高い予算編成としました。

■自主財源と依存財源

一般会計の歳入は、町で自主

的に収入できる「自主財源」と国や県などから交付される「依存財源」に大きく分けられます。この自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性が確保できます。函南町の場合、自主財源が56・8%、依存財源が43・2%です。

■一般会計と特別会計

地方公共団体の会計には一般会計と特別会計があります。

一般会計は、町の行政運営の基本的な経費が計上される会計です。

特別会計は、特定の事業を行うため一般会計と区分して特定の歳入歳出を経理するための会計です。

■特別会計

特定の事業を行う12の特別会計の予算総額は、103億93万3千円で、平成29年度予算と比べて4億1,839万3千円（3・9%）の減額となりました。

〈借入金の状況〉

▶年度末借入金（地方債）残高

平成28年度決算額	約158億9千万円
平成29年度見込額	約159億円
平成30年度見込額	約159億1千万円

地方債は道路、学校、下水道などの都市基盤整備に活用されます。地方債の返済は将来の経常的経費になるため、計画的な借入れに努めています。

一般会計 当初予算の推移（過去5年間）

